

口演発表 演題 一覧

口演発表 9月21日(土)

A会場: 医学部 1号館 3階講堂

A会場 15:35-16:20		ヘルスキャンペーン	
座長: 秋山美紀(慶應義塾大学環境情報学部 教授)			
副座長: 宮脇梨奈(明治大学文学部 講師)			
1-A-01	男女大学生を対象とした子宮頸がん予防啓発プログラムの開発と評価	水沼真紀子	帝京大学大学院 公衆衛生学研究科
1-A-02	街に点在する行動経済学的アプローチの実例から医療分野への応用を考える	野村洋介	帝京大学大学院 公衆衛生学研究科
1-A-03	うつ病発症時の受診促進をめざしたメッセージの開発と評価	須賀万智	東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座

A会場 16:20-17:05		がんコミュニケーション	
座長: 安村誠司(福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座 教授)			
副座長: 加藤美生(帝京大学大学院公衆衛生学研究科 助教)			
1-A-04	患者の希望を知り尊重する医師のコミュニケーションの検討: 血液がん患者へのインタビュー調査	堀抜文香	東京大学大学院医学系 研究科健康科学・看護学専攻
1-A-05	日本におけるがんに関する新聞記事 31年間の計量テキスト分析	浅井文和	東京大学大学院医学系 研究科医療コミュニケーション学
1-A-06	院内他部署からみたがん相談支援センターの特徴に関する研究	八巻知香子	国立がん研究センター がん対策情報センター

口演発表 演題 一覧

口演発表 9月21日(土)

B会場: 医学部 1号館 1階講堂

B会場 15:35-16:20		患者－医療従事者間コミュニケーション	
座長: 杉本なおみ(慶應義塾大学看護医療学部 教授)			
副座長: 本間三恵子(埼玉県立大学健康開発学科健康行動科学専攻 准教授)			
1-B-01	認知症の告知方法に関するプライマリ・ケア医の自信～質主導型混合研究～	阿部路子	浜松医科大学 地域家庭医療学講座
1-B-02	患者の情動的側面に配慮した医療説明のあり方の検討－個人態度構造分析を用いたキャリア間の比較－	辻 義人	公立はこだて未来大学
1-B-03	頸髄損傷患者の障害受容と QOL との関連	千葉俊之	東京大学大学院医学系 研究科医療コミュニケーション学

B会場 16:20-17:05		メディアコミュニケーション(イラスト、漫画)	
座長: 杉森裕樹(大東文化大学スポーツ健康科学部 教授)			
副座長: 榊原圭子(東洋大学社会学部社会福祉学科 准教授)			
1-B-04	患者・市民向けがん情報提供における効果的なイラストレーションの作成・活用に向けたインタビュー調査	原木万紀子	立命館大学 共通教育推進機構
1-B-05	裁判員の心理的負担軽減に向けた遺体写真の適切なイラストレーション化研究:色彩について	原木万紀子	立命館大学 共通教育推進機構
1-B-06	健康教育漫画が行動実施の心理的なレジネンスに与える影響	島崎崇史	上智大学 文学部

口演発表 演題 一覧

口演発表 9月22日(日)

A会場: 医学部 1号館 3階講堂

A会場 8:50-9:35		コミュニケーション教育	
座長: 藤崎和彦(岐阜大学医学部医学教育開発研究センター 教授)			
副座長: 孫大輔(東京大学院医学系研究科附属医学教育国際研究センター 講師)			
2-A-01	研修歯科医が困難を乗り越える心理社会的プロセス	伊藤香恋	九州歯科大学 総合診療学分野
2-A-02	ヘルスコミュニケーションのベースを育む ー内観法の活用ー	橋本章子	帝京大学医技術学部
2-A-03	統合失調症者のレスパイトを受け入れる精神科病院の看護に関する質的研究	石橋昭子	国際医療福祉大学 福岡看護学部

A会場 9:35-10:20		異文化コミュニケーション	
座長: 宮原哲(西南学院大学文学部外国語学科 教授)			
副座長: 大野直子(順天堂大学大学院医学研究科医科学専攻グローバルヘルスリサーチ 講師)			
2-A-04	「不確実な」臨床コミュニケーションにおける信頼: 本邦とデンマークにおける機能性疾患の患者調査から	本間三恵子	埼玉県立大学健康開発 学科健康行動科学専攻
2-A-05	文化スキーマを考える～異文化間を移動する人たちの事例から～	小柴裕子	京都精華大学
2-A-06	病院通訳者の通訳の正確性に関する分析の試みーコーダー間信頼性の検討ー	濱井妙子	静岡県立大学看護学部

口演発表 演題 一覧

口演発表 9月22日(日)

B会場: 医学部 1号館 1階講堂

B会場 8:50-9:35		地域保健	
座長: 武林亨(慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 教授)			
副座長: 島崎崇史(上智大学文学部 講師)			
2-B-01	住民参加型アプローチを用いた「健幸かるた」の作成と普及	齋藤彩	慶應義塾大学先端生命科学研究所「からだ館」
2-B-02	地域組織活動活性化要因の把握と尺度の開発	蝦名玲子	東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学
2-B-03	地域で看護職が実践する社会貢献活動の特性—在宅精神療養者を支援するNPO活動の事例から—	成 玉恵	千葉県立保健医療大学

B会場 9:35-10:20		メディアコミュニケーション(WEB、VR、動画)	
座長: 池田光穂(大阪大学 CO デザインセンター 教授)			
副座長: 原木万紀子(立命館大学共通教育推進機構 特任招聘准教授)			
2-B-04	健康をデザインする ~経験・知恵・アイデアの共有・統合・共創を目指す“領域”と超えた創発プラットフォームの挑戦	戒田信賢	京都大学医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学
2-B-05	ヘルスコミュニケーション分野での仮想現実(VR)活用領域の可能性に関する検討(実践報告)	秋山美紀	慶應義塾大学環境情報学部
2-B-06	医療従事者と患者の共通理解を得るための新しい試みと可能性	飯村隆志	特定非営利活動法人健康サポーターJAPAN